

授業科目名	産業保健活動論		担当教員	◎渋谷 基子	科目ナンバリング NP401
選択	開講年次：4年前期	単位：1単位	授業形態：講義15時間		

【授業概要】

産業保健の目的・意義、産業保健分野における健康課題と労働安全衛生体制を理解し、産業保健師の役割と活動内容を理解する。産業の場で働く人々の健康に関する様々な問題を知り、作業や作業環境、労働環境が健康に及ぼす影響を考える。さらに、今日の労働者を取り巻く社会経済情勢を踏まえ、働く人々の Quality of Life (QOL) 並びに Quality of Working (QWL) の向上を目指した支援活動を体系的に学修する。

【達成目標】

1. 産業保健の基本的な考え方と労働安全衛生にかかわる制度、システムを理解する。
2. 産業保健における健康課題と、その対策・支援について理解する。
3. 産業保健師の役割と活動の実際を理解する。

【履修条件】

3年次後期までに開講されている保健師教育の必修科目を履修していること。

【授業計画】

- [01] 産業保健の定義、目的、対象、産業保健師の役割、わが国の労働衛生と社会背景
- [02] 産業構造の変遷、労働災害・業務上疾病の動向
- [03] 産業保健の制度とシステム
- [04] 労働災害と安全管理
- [05] 産業保健における健康課題と支援
- [06] 多様化する労働者・雇用形態を踏まえた産業保健活動
- [07] 産業保健活動の実際① 産業保健計画のプロセス
- [08] 産業保健活動の実際② 職域の健康課題と保健指導、地域保健等との連携

【教科書】

荒賀直子他(2022). 公衆衛生看護学.jp 第5版(データ更新版)、インターメディカル.

【参考書】

松田正己他(2022). 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院.
河野啓子(2023). 産業看護学 第2版 2023年版、日本看護協会出版会.

【評価方法・評価基準】

定期試験70%、課題レポート30%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：公衆衛生看護学に関する科目を復習して授業に臨む。教科書の該当箇所を事前に学習しておく。日頃から新聞やマスメディアの情報等に関心をもち、働く人々の健康課題について考える(2時間)。

事後学習：各回の授業内容を、教科書および授業時に配布した資料等で復習しておく(2時間)。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートは評価しフィードバックする。

【備考】

(保選)保健師国家試験受験資格取得のための選択必修科目
保健師教育課程の履修許可を得た学生のみ履修可能